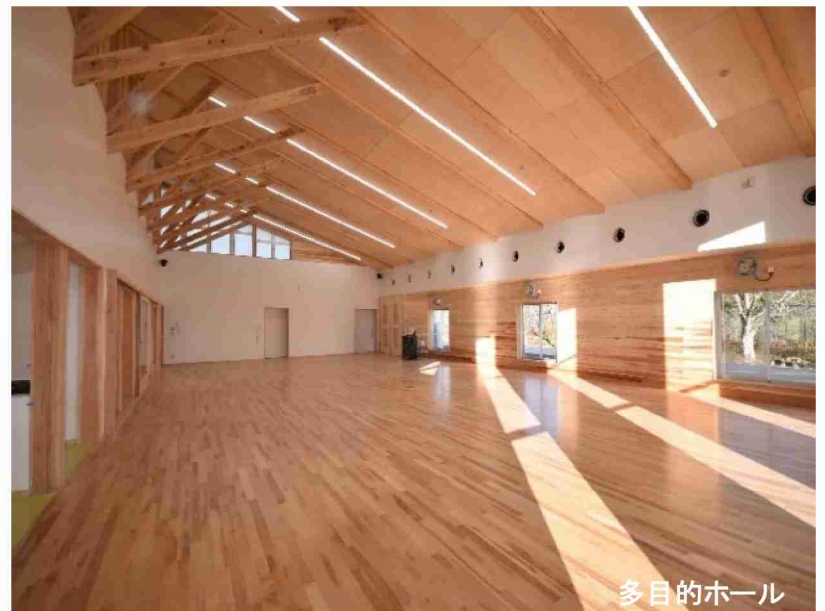


常陸太田市水府ふれあい館

多世代で地域の林業・木材産業の価値を実感できる、
周囲の風景になじんだ「大空間交流施設」



ふれあい館外観



多目的ホール

■ 建築概要

所在地 茨城県常陸太田市町田町
構造・階数 木造平屋建て
事業費 151,656,389円
工期 平成30年12月～令和元年12月
施工者 りんかい日産・小池特定建設工事共同企業体

施設用途 交流ラウンジ, 災害時の避難場所
延床面積 656㎡
木工事費 22,263,234円
設計者 岡田新一設計・柴建築設計事務所建築関連業務
共同企業体
木材供給者 (株)小池住建

■ 設置者からひと言

多目的ホール、図書室の入るふれあい館は、大空間でありながら周辺の住宅スケールから突出しないよう、軒の高さを抑えた切妻屋根を採用した。多目的ホールは10.9m、図書室は9.1mスパンの無柱空間とし、妻側に設けた縦長の窓で部屋の奥まで光を取り入れている。災害時には隣接する体育館と連携した避難施設としての利用にも配慮した計画とした。

■ 使用した木材や工夫した点

中央部の柱は210mm角、外周の柱は150mm角、梁150×300～330mmの集成材を用い、方杖を設けて梁間9.1m、10.9mの大空間を構成した。エントランスから奥まで連続していく、樹木の枝ぶりのような2列の柱の木組みを活かしたデザインとした。

平側の内壁には県産スギの羽目板張りを採用し、フローリング、木製建具なども併せて、仕上材からも木の温もりを感じられる空間とした。

外装材にも一部県産ヒノキ集成材の羽目板張りを採用し、木造らしさを感じられる、周囲の風景に調和する外観とした。

樹種	県産材使用量	使用部	備考
スギ	83.62m ³	間柱、壁、建具枠等	構造材、下地材、造作材
ヒノキ	18.032m ³	幅木等	構造材、造作材
計	101.652m ³		



ふれあい館入口